

素晴らしき「ミニバスケットボール大会」へ感謝

水戸南 RC 新世代奉仕委員長 米田 英雄

水戸南ロータリークラブが主催となり、新世代奉仕活動の一環として毎年実施している「水戸南ロータリークラブ杯 中央地区ミニバスケットボール」の決勝大会が、去る2012年2月12日（日）河和田小学校体育館にて行われました。この大会も今年で第10回目を迎える事となり、開会式では市毛会長より「このすばらしい大会を更に継続して頂きたいし、水戸南 RC は今後共この奉仕活動を支援して行きたい」と挨拶をされました。

水戸市・ひたちなか市・笠間市・茨城町などの近隣市町村にある「スポーツ少年団」で構成され、各地の5年生までの小学生で編成された男子33チーム・女子44チーム、合計77チームが熾烈な戦いを繰り広げ、予選を勝ち上がった男子・女子の上位4チームによる決勝大会という事もあり、見学に参加した水戸南 RC メンバー16名は、一瞬も目が離せない実力伯仲の熱戦に皆夢中で見入っていました。

1チーム5人対5人の対抗で、小さい子では身長100cm・体重12～3kg位しかない様な子が、汗だくになりながらコート内を走る・ボールを奪う・投げる・また走る。監督・コーチの怒鳴り声の叱咤激励・声も枯れんばかりの控えの選手の声援・2階席から身を乗り出して応援する父兄達・ゴールが決まる度に一斉に湧き上がる歓声 ets 2月の極寒室内体育館にも関わらず、寒さは吹き飛びアツと言う間に4時間の観戦が過ぎて行きました。

女子チームの対戦中、ぶつかって倒れた選手が必死に痛さを堪えて、涙を拭いながら立ち上がる。それでも溢れて止まらないのか、走りながら何度も ヽ ヽ ユニフォームで涙を拭っている。別のチームでは、タイムアウトと同時に声を押し殺して泣き出す子・どうやら思う様に得点出来ない事が悔しくて泣き出したらしく、監督が「試合中は泣くな！泣いたら自分にも試合にも負けるぞ！泣くのは試合が終わってからだ！」と厳しく諫める。試合再開後、その泣いていた子が次々にゴールを決めて行く。

男子チームの小さい子は、ユニフォームの半ズボンが長ズボンの様にも見える。そんな子が大きな子にたがわぬパワーとスピードで、ファイト一杯にパスやシュートをしている。

女子は僅かワンゴール差で「桂チーム」・男子は「大洗チーム」の優勝となりました。表彰式では1位～3位のチームに賞状とメダルが授与されましたが、全チームに優勝をあげたい様な熱戦でした。

閉会式では大会スポンサーである水戸南 RC メンバーへ、子供達全員から『ありがとうございます』と大きな声で感謝の言葉をいただきました。しかしながら私達の方こそ、小さな子供達がひたむきに頑張る姿を見て、久しく忘れていた純粋な「熱き思い」を思い出させる素晴らしいプレゼントを頂きました。

子供達よ『本当にありがとう！』